

## 便利なインターネット 利用上のルールとマナー

インターネットの急速な普及によって、多くの人が仕事上の限らず、日常的に利用するようになりました。様々なサービスが提供され、コミュニケーションメディアとしても便利で重宝されています。

確かにインターネットの空間は接続できるパソコンやスマホがあれば人を選ばず誰でも利用でき、国境もありません。ビジネスの世界でも、これまで小規模な企業や個人には壁が高かった海外への事業展開もインターネットの活用に創意工夫して、世界的なビジネスに発展している例も少なくないと言われています。

### 多発しているネット犯罪

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう一方で、インターネットの世界でもソフトウェアやシステムの脆弱性を悪用した攻撃や、メール攻撃をはじめ、いわゆるサイバー空間での犯罪が多発しており、ウィルス感染によって思わぬトラブルに巻き込まれたり、被害を受ける人も増加してしている原

状があります。

デジタル化社会が進展する方向に向かってはいますが、ネットを利用する側も安心して利用するためにはそれなりの自覚とルールとマナーをまもる姿勢、努力が必要です。

### 自己責任が原則である

まず、インターネット利用においては自己責任が原則であること踏まえなければなりません。インターネットを利用して情報を受信したり、発信したりするときには、それによって生じるリスクや社会的責任、法的責任を自分自身が負わなければなりません。この自覚が第一に必要とされることです。

### セキュリティ対策を徹底

インターネットを安全に利用するにはセキュリティ対策が不可欠です。インターネットは誰にでも開かれている自由な社会ですが、まだ秩序が整っていない発展途上という側面も持っています。自分の身は自分で守らなくてはなりませんから、侵入者や違法な行為を行う者たちがいることを日頃から十分認識しておくことが大切です。

セキュリティ対策について要点をまとめてみると、

#### ① パスワード監理を徹底。

インターネットに接続するためのIDとパスワードは、本人が正当な利用者であることを証明する重要な情報です。ユーザーIDと



パスワードを他人に利用去れないようにすることは、インターネット利用者の大切な義務です。パスワードは、容易に推測できないものに工夫し、かつ定期的に変更することを習慣にしたいものです。

また、親しい間柄や家族であってもユーザーIDの共有は厳禁です。誤解を招き、相手方とのトラブルの原因となる危険性があります。

#### ② コンピュータウィルスへの対策

コンピュータウィルスはその名の示すとおり、ウィルスとしての特性で変異しつつ攻撃を仕掛けてきます。いわゆる「ワクチンプログラム」を導入しておくことは勿論ですが、こまめに最新のプログラムに更新することを心掛けたいものです。

また、ファイルを電子メールに添付して送信したりする際には、あらかじめウィルスチェックをかけることもマナーとして大切なことです。送信しようとするファイルに個人情報等が含まれる場合にはパスワードを設定することも大切です。外的な攻撃に対する警戒心を持ち続け、利用者同士で守りあう環境を整えることを習慣化したいものです。

せっかくの画期的な技術革新ですから、ルールとマナーを守って便利に使いこなすよう努めようではありませんか。



保険に関するご質問、ご相談は何でも歓迎いたします。  
お気軽にゲット総合企画迄

☎ 03-5207-5271



## ちょっと教えて 自動車保険

### 保険料決定の重要な要素 『型式別料率クラス』

自家用普通乗用車、自家用小型乗用車および自家用軽四輪乗用車については、自動車の型式ごとに設定された料率クラスにより保険料が変動します。型式別料率クラスは損害保険料率算出機構が膨大な事故データの集積により算出してあり、各保険会社はこれを採用しています。

料率クラスは、自家用普通乗用車と自家用小型乗用車が1～17、自家用軽四輪乗用車が1～3に分けられており、同時にこの料率クラス区分は、対人賠償、対物賠償、人身傷害、車両保険と補償内容ごとに設定されます。その数が大きくなるほど保険料は高くなり、小さくなるほど安くなります。

また、自動車の型式ごとの損害率に基づいて、毎年1月に見直しが行われます。このため、契約している自動車の型式によっては、前契約で事故を起こしていない場合でも、型式料率クラスの変動によって次年度の保険料が高くなるケースが発生することもあります。



# 保険料の決まり方

ドライバーの年齢、性別、事故歴、使用目的、安全装置の有無などで保険料が変わる自動車保険。つまりは事故を起こす確率が高いか低いかを判断して保険料が決まります。しかし、決まり方が複雑でよく分からぬという声があります。十数年前までは、車種と20段階のノンフリート等級によって保険料は決まりましたが、現在では普通・小型乗用車と軽四輪乗用車は型式によって区分され、安全装置の装備による割引も導入されるなど『リスク細分化型自動車保険』として、保険料の算出（決まり方）は複雑化しています。

### ノンフリート等級制度は 無事故と事故有の組合せ

自動車保険では一契約10台以下の契約をノンフリート契約といい、自動車ごとに下の表の「ノンフリート等級制度」を適用します。1等級から20等級までの20段階であることは昔と変わりませんが、現在では、同じ等級でも無事故の場合と事故有の場合とで割増引き率が違う等級制度を適用しています。

この等級制度の改定の背景には、事故を起こした契約者と無事故であった契約者が割引率が同じ等級制度で扱われるのは不公平なので是正を求める、等の意見や要望が消費者団体などから寄せられたことにあると聞きます。

ともあれ現行のノンフリート等級制度では、初めて自動車を購入し自動車保険に加入した場合は、6等級〔割引19%〕が適用され、以後1年間無事故で経過すると1等級づつ等級が上り、無事故等級の割引が適用されていきます。しかし、保険期間中（契約期間中）



に事故を起こした場合は、1事故につき3等級下がります。下がった等級が元に回復するまで3年かかります。

例えば、現在15等の人が1年契約で1年間無事故であれば、次年度は無事故16等級となります。1事故あれば次年度は3等級下がって事故有12等級が適用されるのです。そして3年間無事故で過ごすと無事故15等級にもどるのです。これがノンフリート等級制度のしくみです。また、例外的に1等級しか下がらない事故（車両保険の事故で台風や水害によるものや飛び石によるガラス破損等）や事故と数えないノーカウント事故（人身傷害や搭乗者傷害のみを使用した事故等）があります。

なお、契約を他の保険会社に変更した場合も等級は引き継がれるのがノンフリート等級制度です。

### ノンフリート等級制度

等級	割増					割引															
	1	2	3	4	5	6(F)	7(F)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
割増引率 (%)	無事故	64	28	12	2	13	19	30	40	43	45	47	48	50	51	52	53	53	54	55	63
	事故有							20	21	22	23	25	27	29	31	33	36	38	40	42	44